

日本教育メディア学会
学 会 通 信 第 6 4 号

学会ホームページ <http://jaems.jp/>

2013 年 9 月 28 日発行

事務局

〒176-8534

東京都練馬区豊玉上1-26-1

武蔵大学社会学部

中橋雄研究室内

電話：03-5984-4792

E-mail：office@jaems.jp

目次

2013 年度定例会総会開催通知(会告)	2
第 20 回年次大会のご案内【直前号】	7
ICoME 2013 のご報告	16
企画委員会ワークショップのお知らせ	17
論文投稿のご案内とワークショップのお知らせ	18
第2回研究会のお知らせ	19
第 7 期 第6回理事会(定例)議事録(抄)	20
学会費納入のお願い、入会者・退会者	21

2013 年度定例会総会開催通知(会告)

正会員各位

下記により2013年度日本メディア学会定例総会を開催いたします。会員各位の出席をお願いいたします。なお、ご出席されない方は、事務局から送られたメールに記載されている指定の書式を用いて電子メールで委任状をお送りください（10月10日（木）必着）。

2013年9月28日
日本教育メディア学会
会長 鈴木 克明

記

1. 日 時：2013 年10月12日（土）15:30－16:30（第1日目）

2. 場 所：和歌山大学 基礎教育棟G103

3. 内 容：

（1）議案

第1号議案 2012年度事業報告及び収支決算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④2012年度収支決算（案），監査報告

第2号議案 2013年度事業計画及び収支予算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④2013年度収支予算（案）

（2）報告事項

- ①表彰「日本視聴覚教育協会・井内賞」審査経過と結果報告
- ②『教育メディア研究』特集および投稿募集の件
- ③2014年度年次大会の件
- ④ICoME2014の件
- ⑤学会ロゴの募集・選考の件

以上

(1) 議案

第1号議案 2012年度事業報告及び収支決算

2012年度に実施した事業は次のとおりである。

①機関誌発行

1. 「日本教育メディア研究」第18巻1号・2号合併号，第19巻1号を刊行し，会員に配布した。
2. ニュースレター第58号（2012年4月4日発行），第59号（2012年8月20日発行），第60号（2012年10月10日），第61号（2013年1月8日発行）を刊行し，会員に配布した。

②年次大会の開催

日本教育メディア学会第19回年次大会を，東北学院大学で開催した（2012年8月31日～9月1日）。また，「第19回年次大会発表論文集」を刊行し，申込者に配布した。

③学術交流等

1. 次の研究会を開催した。
 - (1) 平成24年度第1回日本教育メディア学会研究会「国際連携・国内連携 新しい学びを求めて」
(2012年10月13日：日本福祉大学)
 - (2) 平成24年度第2回日本教育メディア学会研究会「教育メディアのこれから」
(2012年12月8日：茨城大学)
2. ICoME2012を共同開催した。
(2012年8月20～8月22日：北京師範大学)
3. 企画委員会・編集委員会合同企画「学習科学と教育メディアの接点を探る」ワークショップを開催した。
(2013年1月26日：株式会社内田洋行 東京 ユビキタス協創広場 CANVAS)

④2012年度収支決算（案），監査報告

2012年度収支決算（案）を次ページに記す。

2012年度 収支決算 (自2012. 4. 1~2013. 3. 31)

1. 収入の部

収入項目	当初予算	決算額	差額	備考
繰越金	3,339,824	3,339,824	0	2011年度から繰り入れ
正会員会費	1,715,000	1,414,000	▲ 301,000	202名分
学生会員会費	112,000	76,000	▲ 36,000	19名分
団体会員会費	350,000	300,000	▲ 50,000	6団体
購読会員会費	84,000	56,000	▲ 28,000	8会員
過年度正会員会費	308,000	343,000	35,000	のべ49名分
過年度学生会員会費	24,000	28,000	4,000	のべ7名分
過年度団体会員会費	0	50,000	50,000	1団体分
過年度購読会員会費	0	0	0	
入会金	135,000	46,000	▲ 89,000	23名分
雑収入	100,000	530,911	430,911	ICoME2011・2012参加費 358,000円, 別刷り印刷 80,000円, 『博物館情報メディア論』印税 42,758円, 利子その他 50,153円
計	6,167,824	6,183,735	15,911	

2. 支出の部

支出項目	当初予算	決算額	差額	備考
通信運搬	300,000	344,485	44,485	学会誌・別刷送料, 事務局移転送料
消耗品	50,000	22,710	▲ 27,290	消耗品費
設備・什器	0	0	0	
印刷製本	1,200,000	593,806	▲ 606,194	学会誌18(合併号), 19(1), 別刷・製本 ※19巻(2)は2013年度発行に繰越
会議費	100,000	0	▲ 100,000	理事会・各種委員会で使用しなかったため
国際会議開催補助費	700,000	700,000	0	国際会議 ICoME2013 開催補助費(2011年度、2012年度: 350,000円×2年分)
借損料	50,000	0	▲ 50,000	関大東京センター, 東北学院大学を無料で使用できたため
旅費	100,000	219,790	119,790	事務局旅費, 会計監査旅費
諸謝金	500,000	500,000	0	事務局補助謝金
年次大会委託費	400,000	155,961	▲ 244,039	2012年度年次大会運営費(東北学院大学)
研究会委託費	200,000	209,782	9,782	2012研究会委託費 2回分
企画委員会委託費	200,000	57,721	▲ 142,279	企画委員会委託費
雑費	20,000	53,130	33,130	振込手数料(9,210円), オンライン口座管理費(12,600円), ホスティングサーバー料金(23,760円), DNS料金(7,560円)
予備費	2,347,824	245,650	▲ 2,102,174	2011年度の誤入金を2012年度に返金(120,000円), 2011年度井内賞副賞(100,000円), 香典・供花等
繰越金	0	3,080,700	3,080,700	2013年度会計に繰り越し
計	6,167,824	6,183,735	15,911	

第2号議案 2013年度事業計画及び収支予算案

2013年度に実施する事業は次のとおりである。

①機関誌発行

1. 『日本教育メディア研究』第19巻2号，第20巻1号，第20巻2号を刊行し，会員に配布する。
2. ニュースレター第62号～第66号を刊行し，会員に公開する（メーリングリスト，Webサイト）。

②年次大会の開催

日本教育メディア学会第20回年次大会を，和歌山大学で開催する（2013年10月12日～10月13日）。また，「第20回年次大会発表論文集」を刊行し，申込者に配布する。

③学術交流等

1. 次の研究会を開催する。

(1) 平成25年度第1回日本教育メディア学会研究会「教育メディアの温故知新」

(2013年7月6日：湘北短期大学)

(2) 平成25年度第2回日本教育メディア学会研究会「ICTと授業実践・学習支援（仮題）」

(2014年3月15日：岩手県立大学アイーナキャンパス)

2. ICoME2013を開催する。(2013年8月9～8月11日：日本福祉大学美浜キャンパス)

3. 企画委員会企画「子ども（幼児・小学校低学年）向けメディア教材を用いた思考をはぐくむ学びと遊びのデザイン」ワークショップを開催する。(2013年12月21日：株式会社内田洋行 東京 ユビキタス協創広場 CANVAS)

④2013年度収支予算（案）

2013年度収支予算（案）を次ページに記す。

2013年度予算（自2013.4.1～2014.3.31）案

1. 収入の部

収入項目	前年度決算	予算額	備考
繰越金	3,339,824	3,080,700	2012年度から繰り入れ
正会員会費	1,414,000	1,575,000	7,000円×225名（納入率70%）
学生会員会費	76,000	88,000	4,000円×22名分（納入率70%）
団体会員会費	300,000	300,000	6団体
購読会員会費	56,000	70,000	10会員
過年度正会員会費	343,000	322,000	7,000円×46名分（未納者の40%）
過年度学生会員会費	28,000	20,000	4,000円×5名分（未納者の40%）
過年度団体会員会費	50,000	0	
過年度購読会員会費	0	0	
入会金	46,000	30,000	15名分
雑収入	530,911	100,000	別刷り印刷、印税、雑誌販売
計	6,183,735	5,585,700	

2. 支出の部

支出項目	前年度決算	予算額	備考
通信運搬	344,485	300,000	学会誌・別刷郵送費
消耗品	22,710	100,000	消耗品費
設備・什器	0	0	
印刷製本	593,806	1,200,000	教育メディア研究19(2)・20(1)・20(2), IJEMT7(1), 封筒, 別刷
会議費	0	100,000	理事会・各種委員会・事務局会議費
国際会議開催補助費	700,000	350,000	ICOME2013開催補助費（2013年度分）
借損料	0	50,000	理事会・各種委員会会議場借料
旅費	219,790	200,000	監査に係る旅費, 理事会・各種委員会・事務局会旅費
諸謝金	500,000	500,000	事務局補助謝金
年次大会委託費	155,961	400,000	年次大会開催委託費
研究会委託費	209,782	200,000	研究会委託費 2回分
企画委員会委託費	57,721	200,000	企画委員会委託費
雑費	53,130	60,000	振込手数料, オンライン口座管理費, ホスティングサーバー料金（23,760円）, DNS料金（7,560円）
予備費	245,650	1,925,700	
次年度繰越金	3,080,700	0	
計	6,183,735	5,585,700	

(2) 報告事項

- ①表彰「日本視聴覚教育協会・井内賞」審査経過と結果報告
- ②『教育メディア研究』特集および投稿募集の件
- ③2014年度年次大会の件
- ④ICoME2014の件
- ⑤学会ロゴの募集・選考の件

第 20 回年次大会開催のお知らせ【直前号】

I. 開催期日・会場等

開催期日：2013年10月12日（土）～10月13日（日）

開催場所：和歌山大学 基礎教育棟（G棟）

（〒640-8510 和歌山市栄谷 930 <http://www.wakayama-u.ac.jp/access.html>）

懇親会：和歌山大学 学内レストラン（フルール）

II. 大会日程

日 時		スケジュール
10月	10:00～	受付（和歌山大学 基礎教育棟）
12日 （土）	10:30～12:30	一般研究発表（1）A1～D1
	12:30～13:30	昼 食
	13:30～15:00	講演・対談：（テーマ）「世界最先端 IT 国家創造宣言」を踏まえた「教育の情報化」の展望について 講演者：豊嶋 基暢氏 （文部科学省生涯学習政策局情報教育課 課長） 聞き手：小柳和喜雄（奈良教育大学）
	15:00～15:20	年次大会事務局からの諸連絡・開催校企画について
	15:30～16:30	日本教育メディア学会総会（学会員）
	17:00～19:00	懇親会（学内レストラン・フルール）
	10月	9:00～9:30
13日 （日）	9:30～11:30	一般研究発表（2）A2～D2
	11:30～12:30	昼 食
	12:30～14:30	シンポジウム：「タブレット端末・デジタル教科書は授業を変えるか」 登壇者：山中昭岳（関西大学初等部） 楠本 誠（三重県松阪市立三雲中学校） 永野 直（千葉県立袖ヶ浦高等学校） 豊田充崇（和歌山大学） 指定討論者：中橋 雄（武蔵大学） コーディネイター：中川一史（放送大学）・豊田充崇（和歌山大学）
	15:00～17:00	課題研究Ⅰ：情報活用能力の育成と評価 課題研究Ⅱ：『博物館情報・メディア論』を検討する 課題研究Ⅲ：SNS 利用の実態とその教育利用
閉 会		

Ⅲ. 大会参加者へのご案内

1. 会場までのアクセス

【電車・バスの場合】

◇大阪なんばから：

①南海本線・特急サザンで和歌山市駅へ約1時間。和歌山大学行バス（3・4番乗り場 和歌山大学行き）へ乗り継ぎで約20分

②南海本線急行で和歌山大学前駅へ約55分。本学までは徒歩で約20分あるいは和歌山バス（和歌山大学前駅東口バス停 和歌山大学行き）で約4分

◇新大阪駅から：特急くろしおでJR和歌山駅へ約1時間5分。和歌山大学行バス（4番乗り場）へ乗り継ぎ（バスで約25分）

◇関西国際空港から：南海空港線急行で泉佐野駅乗り換え、急行で和歌山大学前駅へ約45分。和歌山大学行バス（和歌山大学前駅東口バス停 和歌山大学行き）で約4分

【自動車の場合】学内ゲートは両日開いております。学内駐車場に自由に駐車して下さい。

2. 会場案内：

当学会は、下記の(17)和歌山大学基礎教育棟（G棟）にて開催します。

※受付は基礎教育棟・玄関にておこないますので、到着次第、名札をお受け取り下さい。なお、大会期間中の会場内では必ず名札をお付け下さい。

※駐車場ご利用の際は、基礎教育棟周辺の駐車場が便利ですが、学内周回道路を登る必要があります。道幅が狭いためお気を付けてください。



IV. 年次大会の参加費用

		10月4日(金)中に振込	当日支払い
参加費	会 員	5,000 円	6,000 円
	学生会員	3,000 円	4,000 円
	非会員	6,000 円 ※教員・学生の場合 2,000 円	7,000 円 ※教員・学生の場合 2,000 円
		※非会員の教員・学生の場合の参加費設定は、これまでの「日本教育メディア学会 年次大会」にならった特別な設定となっています。できるだけ多くの参加者を集め、当学会の認知や入会を促す意図がありますのでご了承下さい。	
冊子・CD-ROM		(追加分) 3,000 円 (郵送料 500 円) ※参加費に1セット分含まれています。	
懇親会 (10/12 夕刻)		5,000 円 (学生 3,000 円) ※懇親会場の都合上、当日参加不可の場合があります。 できるだけ事前に参加申し込み・入金をお願いします。	

※事前入金先は年次大会 Web サイトに掲載しております。

年次大会サイト URL <http://wtoyoda-lab.sakura.ne.jp/jaems2013/>

※受付業務を円滑にするため、できるだけ事前入金にご協力ください。

V. 大会事務局・問い合わせ先

年次大会に関するお問い合わせは下記まで電話または電子メールにてお願いします。

和歌山大学 豊田研究室内 (教育学部附属教育実践総合センター 205 室)

直通電話 073-457-7536 / Fax 073-457-7538

メールアドレス jaems2013-office@wtoyoda-lab.sakura.ne.jp

大会プログラム・10月12日(土)・1日目

A 1 一般研究 (G201教室) 10月12日(土) 10:30~12:30

座長：後藤康志 (新潟大学)・岸磨貴子 (明治大学)

- A1-1 メディア接触がメディアの認知に及ぼす影響
後藤康志 (新潟大学)
- A1-2 大学生のテレビ離れ意識の構造
石川勝博 (常磐大学)
- A1-3 ケータイ小説の流行に関する調査
芝田成輝 (茨城大学教育学研究科)
- A1-4 構成主義に基づいた参加型展示の実践と評価 -ソーシャルメディアを活用した写真展-
岸磨貴子 (明治大学国際日本学部)・吉田千穂 (NPO 法人学習創造フォーラム)
- A1-5 facebook を利用した演習授業の実践 -ゼミ活動における運用と意識変化を中心に-
川瀬基寛 (十文字学園女子大学)

B 1 一般研究 (G205教室) 10月12日(土) 10:30~12:30

座長：柴田隆史 (東京福祉大学)・高橋暁子 (熊本大学大学院)

- B1-1 小学校社会科の授業における立体映像の活用
柴田隆史・渡邊唯・青柳智哉 (東京福祉大学教育学部)
- B1-2 Google Apps の教育活用を推進するビデオコンテンツの開発
倉掛崇・佐藤慎一 (日本福祉大学)
- B1-3 通信制高校における学校設置科目「メディアラーニング」の開発
鈴木祐・石井浩二・森山了一・大泉由香
佐野公晃・中澤匠吾 (NHK 学園高等学校)
- B1-4 カードメディアを利用した歴史の転移プロセスに関する調査
池尻良平 (東京大学)
- B1-5 インストラクショナルデザインの初学者を対象とした Job-Aid ツールの開発
高橋暁子 (熊本大学大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践センター)
井ノ上憲司 (熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻)
市川尚 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部)
根本淳子・鈴木克明 (熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻)

C 1 一般研究 (G206教室) 10月12日(土) 10:30~12:30

座長：小柳和喜雄 (奈良教育大学)・谷塚光典 (信州大学)

- C1-1 キー・コンピテンシーの評価方法に関する調査報告
小柳和喜雄 (奈良教育大学)
- C1-2 21世紀型コミュニケーション力育成に関する教員研修の研修プログラムの開発と評価
山本朋弘 (熊本県教育庁)・佐藤幸江 (金澤星稜大学) 中川一史 (放送大学)

村井万寿夫（金澤星稜大学）・藤本康雄（財団法人コンピュータ教育開発センター）

C1-3 教員研修におけるデジタルストーリーテリングの効果

前田康裕（熊本市教育センター）

C1-4 教科教育法において ICT 活用指導力を向上させるための授業デザインプロセスの検討

寺嶋浩介（長崎大学）

C1-5 教職 e ポートフォリオを用いた教員養成初期段階の学生による相互評価の分析の試み

谷塚光典（信州大学・熊本大学）・東原義訓（信州大学）

鈴木克明・喜多敏博（熊本大学）・渡邊あや（国立教育政策研究所）

D 1 一般研究（G207教室） 10月12日（土） 10:30~12:30

座長：寺岡聖豪（福岡教育大学）・広瀬一弥（亀岡市立南つつじヶ丘小学校）

D1-1 新聞の活用と制作を関連づけた学習活動一覧表の開発と評価

杉聖也（高森町立高森東小学校）・山本朋弘（熊本県教育庁）・中川一史（放送大学）

D1-2 思考力を育成するための授業目標設計シートの開発と評価

丸山俊幸・寺嶋浩介・藤木卓（長崎大学）・小清水貴子（静岡大学）

D1-3 「思考力・判断力・表現力」の育成 –現状と課題–

寺岡聖豪（福岡教育大学）

D1-4 小学校における言語活動の充実に向けた言語力育成プログラムの開発と評価

広瀬一弥・末永礼子（亀岡市立南つつじヶ丘小学校）・中川一史（放送大学）

D1-5 教職専門実習での社会科授業実践 –思考力を高めるための ICT を用いた授業づくり–

山口晃平・浅井和行（京都教育大学大学院連合教職実践研究科）

講演・対談（G103教室） 10月12日（土） 13:30~15:00

テーマ：「世界最先端 IT 国家創造宣言」を踏まえた「教育の情報化」の展望について

講演者：豊嶋 基暢氏（文部科学省生涯学習政策局情報教育課 課長）

聞き手：小柳和喜雄（奈良教育大学）

大会プログラム・10月13日(日)・第2日目

A2 一般研究 (G201教室) 10月13日(日) 9:30~11:30

座長：秋光淳生 (放送大学)・鈴木克明 (熊本大学)

- A2-1 放送大学における ICT 活用の位置づけ
秋光淳生・秦野努・三輪眞木子・仁科エミ (放送大学)
- A2-2 短期大学におけるメディア利用による主体的な学びに関する研究
菊地紀子 (帝京短期大学)・篠原文陽児 (東京学芸大学)
- A2-3 キャリアポートフォリオを活用した留学生に対する就職支援の有用性と限界
田淵敬光・草野素雄・新井浅浩 (城西大学)・宮寺庸造 (東京学芸大学)・栗田るみ子 (城西大学)
- A2-4 フルオンライン大学における演習授業に関する実践報告
松野早野香 (サイバー大学)
- A2-5 オンライン大学院におけるグループ課題の系列化
鈴木克明・根本淳子 (熊本大学)・竹岡篤永 (熊本大学・九州大学)
高橋暁子 (熊本大学)・柴田喜幸 (熊本大学・産業医科大学)

B2 一般研究 (G205教室) 10月13日(日) 9:30~11:30

座長：永田智子 (兵庫教育大学)・田中洋一 (仁愛女子短期大学)

- B2-1 タブレット端末の活用が小学校家庭科の家庭学習に与える効果
鈴木千春 (兵庫教育大学)・永田智子 (兵庫教育大学大学院)
- B2-2 中学校理科における TPC を用いた協働学習の実践
楠本誠 (松阪市立三雲中学校)・中川一史 (放送大学)
- B2-3 小学校入門期におけるタブレット端末活用場面の分析
堤由美子 (松戸市立馬橋小学校)・中川一史 (放送大学)
- B2-4 無線 LAN 環境での 1 人 1 台 ipad 利用が可能にする国語科学習方法の実践と検証
二田貴広 (奈良女子大学附属中等教育学校)
- B2-5 低学年におけるメディア創造力を育む授業デザイン
山中昭岳 (関西大学初等部)・中川一史 (放送大学)・中橋雄 (武蔵大学)
- B2-6 幼稚園・保育所における視聴覚教育の設計
田中洋一 (仁愛女子短期大学)

C2 一般研究 (G206教室) 10月13日(日) 9:30~11:30

座長：久保田賢一 (関西大学)・浅井和行 (京都教育大学)

- C2-1 社会的実践に埋め込まれたメディア・リテラシー教育
久保田賢一 (関西大学)
- C2-2 学習指導要領改訂期の小学校国語科教科書における
説明文教材の映像メディアの理解と表現に関する分析

石川等（甲府市立里垣小学校）・中川一史（放送大学）・中橋雄（武蔵大学）

佐藤幸江（金澤星稜大学）・森下耕治（光村図書出版）

C2-3 ソーシャルメディア時代に対応したメディア・リテラシー育成プログラムの開発と試行（1）

佐藤和紀（東京都北区立豊川小学校）・中橋雄（武蔵大学社会学部メディア社会学科）

C2-4 「メディア・コミュニケーション科」の開発と試行

浅井和行（京都教育大学）・山川拓（京都教育大学附属桃山小学校）・中橋雄（武蔵大学）

C2-5 「メディア・コミュニケーション科」の授業実践

平島和雄（京都教育大学大学院・京都教育大学附属桃山小学校）

若松俊介（京都教育大学附属桃山小学校）

浅井和行（京都教育大学・京都教育大学附属桃山小学校）

D2 一般研究（G207教室） 10月13日（日） 9:30~11:30

座長：野村正弘（駿河台大学）・中橋雄（武蔵大学）

D2-1 学校情報の性質にあった提供手段の検討

野村正弘（駿河台大学）・前田雄仁・新井伸明・鈴木由加・堀江美奈子・重田泰彦

望月直和・尾坂麻美・角谷奈千・丸田裕子・石田衣絵・鈴木博人・川村良幸

倉林昌子（埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会）

D2-2 「不適切な投稿」問題から考える情報発信の授業

岡本弘之（聖母被昇天学院中学校高等学校）・浅井和行（京都教育大学）

D2-3 高校英語科の教師が置かれている環境と、

コミュニカティブな教授活動を実践するための課題についての研究

中川歩香（関西大学）

D2-4 ICTを活用した授業実践の形成的評価—発問・指示・説明との関係を踏まえて—

吉田誠也・寺嶋浩介・水口之斉（長崎大学）

D2-5 授業における自作教材の効果的な活用

寺岡裕城・浅井和行（京都教育大学大学院連合教職実践研究科）

D2-6 小学校国語科指導者用デジタル教科書を活かす指導方略

中橋雄（武蔵大学）・中川一史（放送大学）

シンポジウム（G103教室） 10月13日（日） 12:30~14:30

テーマ：「タブレット端末・デジタル教科書は授業を変えるか」

登壇者：山中昭岳（関西大学初等部）

楠本 誠（三重県松阪市立三雲中学校）

永野 直（千葉県立袖ヶ浦高等学校）

豊田充崇（和歌山大学）

指定討論者：中橋 雄（武蔵大学）

コーディネーター：中川一史（放送大学）・豊田充崇（和歌山大学）

◇課題研究Ⅰ 情報活用能力の育成と評価 (G205 教室)

担当：寺嶋浩介（長崎大学）

- K1-1 メディア・リテラシーの評価を巡って
後藤康志（新潟大学）
- K1-2 児童の情報活用能力と教師の指導の実態に関する調査
野中陽一（横浜国立大学）・樋口彰（川崎市立西生田小学校）
- K1-3 学校図書館における情報活用型授業デザインシートの分析
稲垣忠（東北学院大学）・庭井史絵（慶應義塾普通部）
- K1-4 「21世紀型情報活用能力」を育む新教育課程の開発と実践
～新教科「メディア・コミュニケーション科」を創る～
山川拓（京都教育大学附属桃山小学校）・浅井和行（京都教育大学）
中橋雄（武蔵大学社会学部）

◇課題研究Ⅱ 『博物館情報・メディア論』を検討する (G206 教室)

担当：村野井 均（茨城大学）

※当セッションは、日本教育メディア学会が2013年2月に刊行した『博物館情報・メディア論』（ぎょうせい）を検討することを目的としています。下記2件の発表後に執筆者からの書籍内容の説明や学会内からの書評を頂く予定です。

- K2-1 博物館情報・メディア論と梅棹忠夫の生態史観 -博物館再生とメディア化の可能性-
市川昌（江戸川大学）
- K2-2 二つの教科書と授業実践
大西誠（愛知淑徳大学）

※『博物館情報・メディア論』について（「ぎょうせい」サイトより）

「学芸員養成課程に新設された必修科目「博物館情報・メディア論」に完全準拠した他に類書の無い1冊。（2013/1/31現在）博物館を取り巻く状況が大きく変わるなか、従来のように所蔵品をただ陳列するだけでなく、さまざまな情報発信やメディアを活用することが求められています。本書は、学生はもとより、博物館、美術館、科学館等の現役の学芸員の仕事改善の参考となるために刊行いたします。

※当書籍については、当日会場に参考出展させていただきます。

◇課題研究Ⅲ SNS利用の実態とその教育利用 (G207 教室)

担当：久保田賢一（関西大学）

- K3-1 教育用SNSを利用した話し合い活動における発言の考察
菊地寛（浜松市立三ヶ日西小学校）・中川一史（放送大学）
- K3-2 iPadを活用したフィールドワークの成果と課題
-関西大学高等部の実践を事例として-

江守恒明（関西大学高等部）・山本良太（関西大学大学院）・久保田賢一（関西大学）

K3-3 留学生の SNS を通じた人的ネットワーキングの教育的な意義

村田晶子（法政大学）

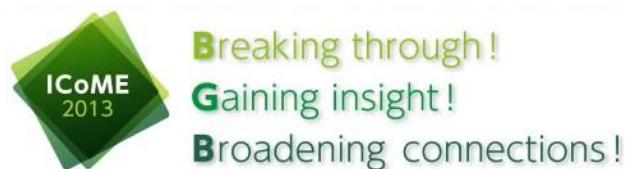
K3-4 SNS について教師が知っておくことは何か

-ATOM2013 での SNS 教員研修ワークショップを通して-

和田正人（東京学芸大学）

ICoME 2013 のご報告

International Conference for Media in Education (ICoME) 2013 大会テーマ “Media driven international collaboration”



日本福祉大学美浜キャンパスで8月9日(金)から11日(日)の3日間、International Conference for Media in Education (ICoME) 2013 が日本福祉大学にて開催されました。8か国から研究者、大学院生、学部生など、163名が参加しました。

基調講演は、白鳳大学の赤堀侃司教授にお願いいたしました。“Do Digital Devices Work Better Than Paper Materials for Learning?” というタイトルで、デジタルを活用した場合、紙などのアナログの活用した場合の学習効果について、広範囲に渡る詳細な調査・研究成果に関してご紹介いただきました。

コンカレントセッションでは49件、ラウンドテーブルセッションでは42件の発表が行われました。ラウンドテーブルは、主に大学院生および学部生からの発表であることもあり、若い参加者も多く、熱気・活気にあふれていたように思います。また、韓国の学生と日本の学生が協働で行った調査研究の発表も見られました。研究発表以外にも、ハッピーアワー、懇親会と、インフォーマルなコミュニケーションの場が設定され、参加者間で議論・交流を深めている様子がうかがえました。ICoMEを通じて、参加国・参加者の連携が広がり深まっていることが感じられ、今後、このネットワークがさらに発展していくことが期待されます。(関連 URL <http://icome2013.iwd.jp>)



コンカレントセッションの様子



ラウンドテーブルセッションの様子

日本福祉大学 影戸誠・佐藤慎一

企画委員会ワークショップのお知らせ

企画委員会 委員長 中川一史, 本企画担当 堀田博史

企画委員会では、2013年12月21日(土)12:45 受付, 13:15~16:30 内田洋行新川オフィス(東京・八丁堀)において『子ども(幼児・小学校低学年)向けメディア教材を用いた思考をはぐくむ学びと遊びのデザイン』と題したワークショップを開催します。

幼児や小学校低学年までの子どもを楽しませるメディア教材のデザインには、中学年以降の子どもにも共通するものがあると考え、その内容を探りたく、今回の企画に至りました。子どもの教材・デザイン研究の最先端3名の登壇者を迎え、講演・ワークショップへとつなげます。

<登壇者プロフィール>

沢井佳子氏(チャイルド・ラボ所長)

森田倫代氏(NHK Eテレ「みいつけた!」ディレクター)

朝倉民枝氏((株)グッド・グリーン代表)

<時程>

12:30~ 受付開始

13:00~13:20 開会、主催者あいさつ、趣旨説明

13:20~14:50 沢井氏, 森田氏, 朝倉氏からのミニ講演(各30分程度)

14:50~15:00 休憩

15:00~16:15 ドラマ手法を使ったコミュニケーションワークショップ

16:15~16:30 子ども向けメディア教材の不易と未来の流行について(各5分)

16:30~ 閉会

17:00~ 懇親会場へ移動

<参加費> 1,000円

<懇親会> ワorkshop終了後、懇親会を予定しております。参加費 約5,000円(場所は、八丁堀駅周辺を予定しています)。

<参加申し込み>

定員50名(先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます)

ワークショップに参加希望の方は、以下の項目を記入の上、メールにてお申し込み下さい。

- (1) ご所属
- (2) お名前
- (3) ご住所・連絡先
- (4) 懇親会に 参加する・参加しない

参加申し込み等の連絡先 hotta@sonoda-u.ac.jp (担当: 園田学園女子大学・堀田博史)

<了解事項>

ワークショップの様子は、ビデオ・写真撮影をいたします。Webサイトで公開予定ですので、ご了承をお願いします。不都合がある方は、事前にお申し出ください。

論文投稿のご案内とワークショップのお知らせ

編集委員会 国内ジャーナル担当 委員長 久保田 賢一

■投稿論文募集 (Vol. 21, No. 1)

締切：2014年1月30日

■特集号「国際連携・国内連携におけるメディア活用」 (Vol. 21, No. 2)

締切：2014年7月30日

20号2巻の教育メディア研究では、「国際連携・国内連携におけるメディア活用」というテーマで特集を組みます。学校間交流、高大連携、地域社会と連携したサービスラーニング、海外と連携したフィールドワーク、産学連携、オープンコースウェアを活用した学習など、教室の枠を超えた様々な教育実践が多くみられるようになりました。このような教室の枠を超えた実践においてメディアの活用は不可欠です。ソーシャルメディア、TV会議システム、LMSなどの様々なメディアを活用した国際連携・国内連携による教育実践を多様なアプローチから研究している研究論文を募集します。

■ワークショップ「国際連携・国内連携におけるメディア活用」

また、これに伴い、本特集論文への関心を持っていただくため、「国際連携・国内連携におけるメディア活用」に関するワークショップを実施します。本テーマのキーワードとなる「異なる文化間の協働」および「異なる文化間の越境」を研究する手法について学び、メディア研究との接点について考えたいと思います。

日時：2014年1月25日 午前10時から午後5時まで

場所：関西大学 東京センター(予定)

<http://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/map.html>

定員：30名

テーマ：国際連携・国内連携におけるメディア活用

内容：「異なる文化間の協働」および「異なる文化への越境」を研究するための手法を学ぶ

第2回研究会のお知らせ

研究委員会 国内研究会担当 委員長 浅井和行, 本企画担当 市川尚

■ テーマ 「ICT と授業設計・学習支援／一般」

ICT分野の発展と、それに伴う日常生活へのICT環境の浸透など、これまでにない急速な変化の中で、教育におけるICT活用はますます重要になってきています。

ICTを学習における道具あるいは基盤として、協働（協調）学習および個別学習の実現や、学習内容の多様な表現、思考過程の外化など、より学習を効果的・効率的・魅力的にするために活用していくことが期待されます。

単なる目新しさだけの導入にとどまらず、ICTの特性を踏まえながら、どのように授業で有効活用していけばよいのか、どのように学習環境を整備していけばよいのかを考える機会としたいと思います。

また、このテーマに限らず広く本学会の研究分野に関わる発表も歓迎いたします。

■ 日時：2014年3月15日（土）13:00～16:00

■ 場所：岩手県立大学アイーナキャンパス（岩手県盛岡市）

（JR盛岡駅西口より徒歩5分 岩手県民交流情報センター「アイーナ」7階）

■ 参加費：資料代1,000円

■ 発表申し込み締め切り日：2014年1月17日（金）

■ 原稿送付締め切り日：2014年2月17日（月）

具体的な申込み方法等につきましては、後日ご案内いたします。

研究会終了後には懇親会も予定しております。

第7期 第6回理事会(定例)議事録(抄)

1. 日時 2013年8月19日～2013年8月21日(審議)
2013年8月23日～2013年8月24日(投票)
2. 場所 会則第24条に基づく電子メールによる会議
3. 出席者 理事21名(24名中)
4. 協議事項

※会議に先立ち、会長より会則第24条に基づく電子メールでの会議開催に関する手続きの説明があった。理事は、各議案を承認することについての可否を上記期間に返信することとした。

第1号議案 総会資料の件

2013年度総会資料について、事務局から提出された資料に基づいて審議され、原案の通り承認された。

第2号議案 学会通信台割案(64号から66号まで)の件

学会通信64号から66号までの台割案について、広報委員会から提出された資料に基づいて審議され、原案の通り承認された。

第3号議案 学会ロゴの件

学会ロゴ公募に関する選考の進捗状況と今後の進め方について、広報委員会から提出された資料に基づいて審議され、原案の通り承認された。

報告事項

IJEMT編集委員会よりInternational Journal for Educational Media and Technology Vol.7が発行されたことについて報告された。(http://jaems.jp/contents/icomelj/icomelj.html)

以上

日本教育メディア学会 事務局長(第7期)

中橋 雄(武蔵大学)

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2013年度(2013年4月1日から2014年3月31日)の年会費(正会員7,000円、学生会員4,000円)が未納の方は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店(ヨンイチハチ店) 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会(ニホンキョウイクメディアガクカイ)
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。大学事務局を通じた大学名による振り込みは、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生(社会人学生を除く)です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください(スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます)。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要お知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、事務局までメールアドレス、お届け先住所の情報をお送りくださるよう、よろしくようお願いいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員(10名)・・・岩松 枝実香、倉掛 崇、秋光 淳生、村田 晶子、今度 珠美、佐藤 和紀、柴田 隆史、広瀬 一弥、笠井 正隆、松本 早野香
新入会員・学生会員(6名)・・・大福 聡平、中川 歩香、山口 晃平、天野 慧、田渊 敬光、丸山 俊幸

会員総数 377名・16団体
名誉会員：3名
正会員：340名
学生会員：34名
団体会員：6団体
購読会員：10団体
(2013年9月13日現在)

日本教育メディア学会 事務局

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1
武蔵大学社会学部 中橋雄研究室内
電話：03-5984-4792 E-mail：office@jaems.jp
学会ホームページ URL：<http://jaems.jp/>

広報委員会

委員長 小柳和喜雄(奈良教育大学)
副委員長 永田智子(兵庫教育大学)
副委員長 村上正行(京都外国語大学)

(2013年9月26日現在)